

株主・投資家の
皆さまへ

第 80 期 上期

大和証券グループ
ビジネスレポート

2016年4月1日～2016年9月30日

第80期

大和証券グループ
中間ビジネスレポート

Contents

01	CEOからのごあいさつ	08	市場環境
03	財務関連情報	09	会社概要／株式・株価の情報
04	セグメント別の概況	10	大和証券 国内サービス網
05	トピックス		

CEOからのごあいさつ

株主の皆さまへ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

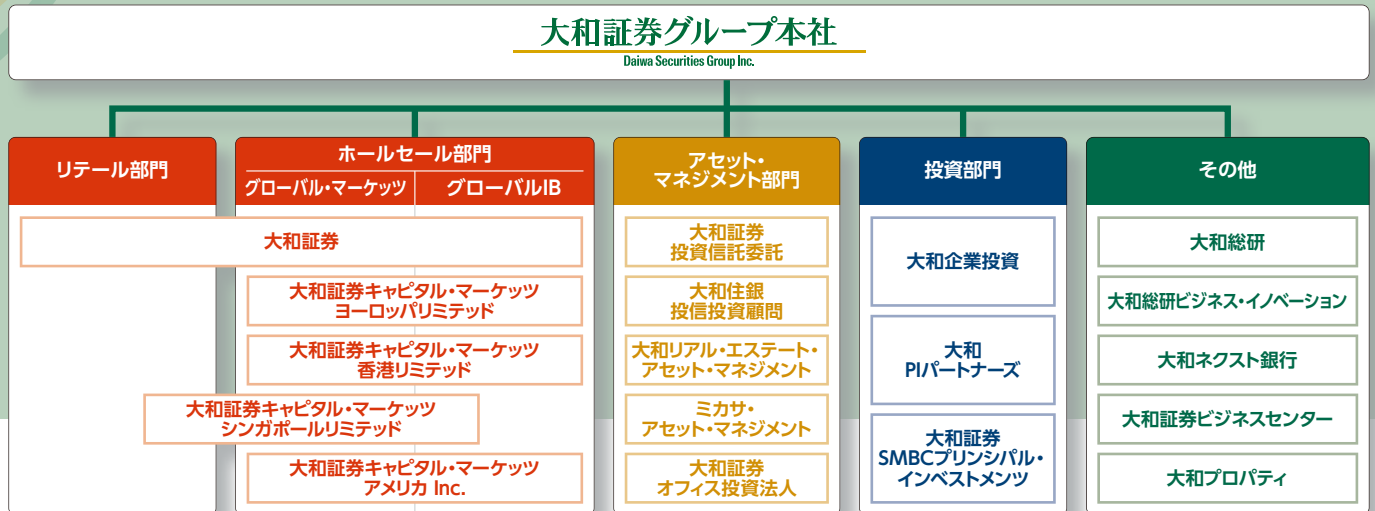
大和証券グループでは、2015年より3ヵ年の中期経営計画(以下、「中計」)“Passion for the Best” 2017をスタートし、当期2016年度上半期はその折り返し地点となります。前年度後半より、難しい事業環境が続いておりますが、中計に掲げる戦略を着実に実行することで、企業価値の向上を図ってまいります。

上期(2016年4～9月)の国内株式相場を振り返りますと、前半は世界経済の減速懸念、円高の進行に加え、6月末の英国のEU離脱(Brexit)問題を背景に、株価が乱高下する場面がありました。その後、7月に入ると金融市場は落ち着きを取り戻しましたが、7月末の日銀によるETFの買い入れ増額の決定による株価下支え効果も限定的となり、日経平均株価は16,449円84銭で上期を終えました。

このような環境下、上期の連結純営業収益は、2,291億円、連結経常利益は657億円、最終利益を示す親会社に帰属する純利益は550億円となり、中間配当については1株あたり13円といたしました。また、株主の皆さまへの更なる利益還元として、2016年10月28日開催の取締役会において、株式総数3,000万株(発行済株式総数(自己株式を除く))に対する割合1.77%)および取得価額総額200億円を上限とする自己株式の取得枠について決議いたしました。

上期の業績においては、相場の本格的な反転が見られない中、個人投資家のリスク回避傾向が継続し、リテール部門は苦戦が続きました。一方で、ホールセール部門グローバル・マーケットにおける債券トレーディングについては、マイナス金利政策導入後の金利環境の変化を捉えた商品提案およびオペレーションが奏功し、業績に寄与しました。また、これまでの収支改善に向けた取組みの成果により、海外部門が黒字に転換し、利益貢献しております。

■ 大和証券グループの主要会社構成 (2016年10月1日現在)



2014年に開始したNISA(少額投資非課税制度)に続き、ジュニアNISAの導入や個人型DC(確定拠出年金)の加入対象者拡大など、家計の中長期の安定的な資産形成を支援するための制度が拡充されるなか、一貫して証券市場を担ってきた私ども証券会社の果たすべき使命は大変大きなものがあると考えています。

当社グループとしては、今後も、証券市場を通じて、豊かな国民生活と日本の成長戦略に貢献できるよう、グループをあげて取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後もなお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2016年11月

株式会社大和証券グループ本社
執行役社長 CEO

日比野 隆司



財務関連情報

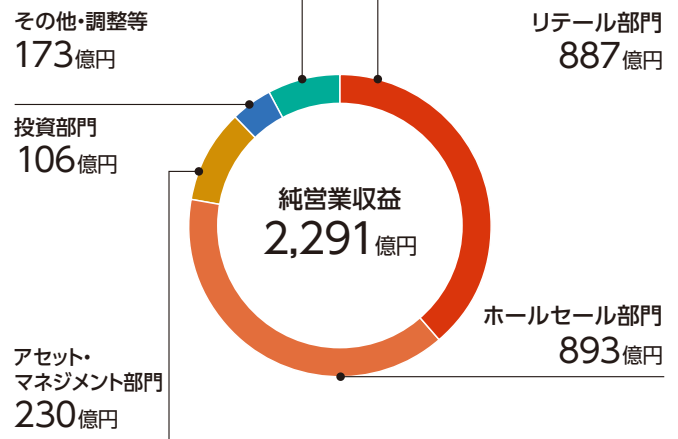
連結財務諸表(要約)

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第80期上期 (2016年4月1日～ 2016年9月30日)	第79期上期 (2015年4月1日～ 2015年9月30日)	第79期 (2015年4月1日～ 2016年3月31日)
営業収益	296,977	349,515	653,711
受入手数料	126,067	156,502	288,418
トレーディング損益	65,764	72,724	131,324
営業投資有価証券関連損益	10,416	5,195	18,502
金融収益	68,815	73,166	149,451
その他の営業収益	25,913	41,927	66,014
金融費用	47,334	48,267	89,530
その他の営業費用	20,497	23,005	49,366
純営業収益	229,145	278,242	514,815
販売費・一般管理費	171,802	186,856	364,517
営業利益	57,342	91,386	150,297
経常利益	65,794	98,569	165,148
親会社株主に帰属する当期純利益	55,014	69,183	116,848

第80期上期 純営業収益の内訳



連結貸借対照表

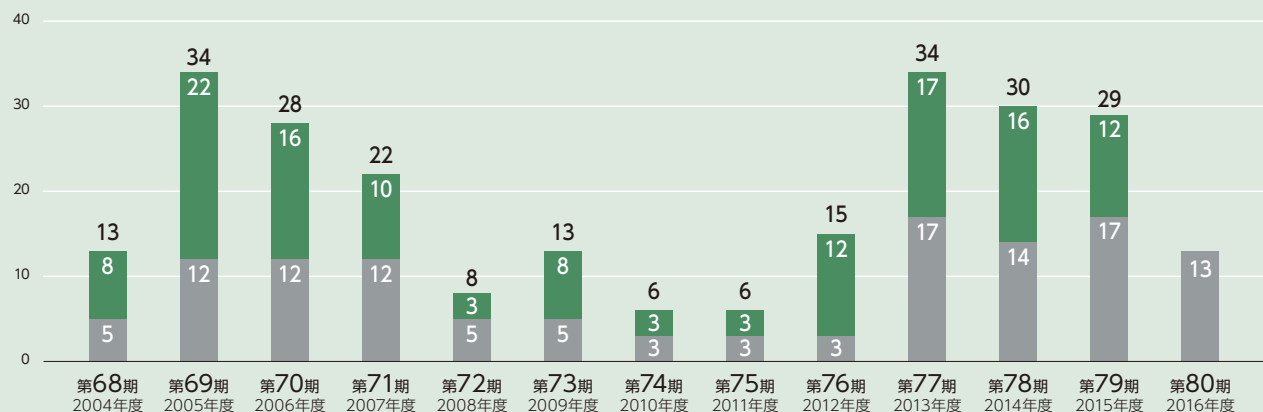
(単位:百万円)

科目	第80期上期 (2016年9月30日)	第79期上期 (2015年9月30日)	第79期 (2016年3月31日)
【資産の部】			
流動資産計	19,470,191	22,625,836	19,851,563
現金・預金	3,551,431	3,248,097	3,334,784
有価証券	1,884,250	2,202,747	2,091,090
トレーディング商品	7,028,640	8,217,987	7,501,242
営業投資有価証券	134,148	146,751	127,210
投資損失引当金	△11,372	△ 36,539	△ 11,053
有価証券担保貸付金	5,355,831	7,405,031	5,250,135
固定資産計	551,451	557,874	569,255
有形固定資産	122,417	122,826	124,562
無形固定資産	86,312	76,383	84,879
投資その他の資産	342,721	358,663	359,812
資産合計	20,021,642	23,183,711	20,420,818

科目	第80期上期 (2016年9月30日)	第79期上期 (2015年9月30日)	第79期 (2016年3月31日)
【負債の部】			
流動負債計	16,446,195	19,671,636	16,827,865
トレーディング商品	4,913,273	5,825,065	5,300,861
有価証券担保借入金	6,161,208	7,993,010	5,901,794
銀行業における預金	2,814,623	2,965,194	2,928,630
固定負債計	2,273,720	2,161,790	2,275,976
負債合計	18,723,886	21,837,354	19,107,812
【純資産の部】			
株主資本	1,168,845	1,133,085	1,133,257
その他の包括利益累計額	36,805	125,183	86,574
非支配株主持分	84,045	79,839	84,214
純資産合計	1,297,756	1,346,356	1,313,005
負債・純資産合計	20,021,642	23,183,711	20,420,818

1株当たり配当金の推移

■ 中間配当 ■ 期末配当 (単位:円)



リテール部門

純営業収益

887億円 (前年同期比 △27.1%)

経常利益

111億円 (前年同期比 △73.6%)

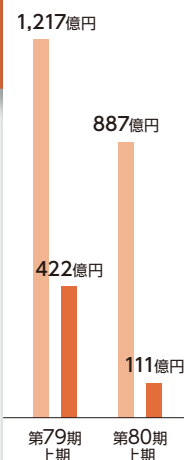


部門
概要

リテール部門は、日本全国の個人を中心とするお客さまの資産運用ニーズにお応えし、家計と資本市場をつなぐことで、国民財産の形成と資本市場への資金供給に貢献する役割を担っています。全国に広がる店舗網と、充実したインターネットインフラにより、国内外の株式や債券、投資信託に加え、年金保険やラップ口座サービスなど、さまざまな金融商品・サービスを取り揃えています。

業績
概況

ラップ口座の契約資産残高は前年同期比で引き続き拡大し、安定収益の拡大に寄与したものの、株式市場の停滞等により、各商品の取引・販売額が減少したことから、純営業収益、経常利益ともに前年同期を下回りました。



ホールセール部門

純営業収益

893億円 (前年同期比 △6.6%)

経常利益

321億円 (前年同期比 +8.4%)

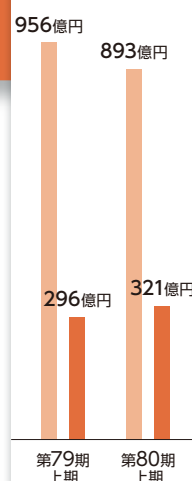


部門
概要

ホールセール部門は、グローバル・マーケット、グローバル・インベストメント・バンキングで構成され、国内外の企業の経済活動を資金調達、資金運用の両面から支援する役割を担っています。グローバル・マーケットにおいては、機関投資家を中心とするお客さまを対象に有価証券(株式・債券、その他金融商品)のセールスおよびトレーディング業務を行なっています。また、グローバル・インベストメント・バンキングにおいては、事業法人、金融法人などのお客さまが発行する有価証券の引受けやM&Aのアドバイザーなどの投資銀行業務を行なっています。

業績
概況

債券ビジネスが収益を牽引するとともに、グローバルネットワークを活かしたビジネスからの収益が拡大し、前年同期に比べ純営業収益は微減となったものの、経常利益は上回りました。



アセット・マネジメント部門

純営業収益

230億円 (前年同期比 △16.4%)

経常利益

134億円 (前年同期比 △20.1%)

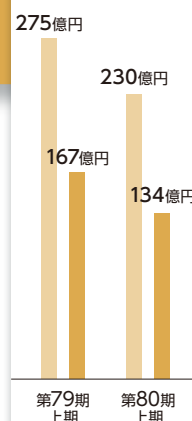


部門
概要

アセット・マネジメント部門では、運用の専門家として、投資家本人に代わって運用を行う運用受託業務および運用の助言業務を行なっています。個人を中心とするお客さまのニーズに応える投資信託の設定・運用、機関投資家を中心とするお客さまに対する投資顧問のほか、不動産投資信託の運営・運用を通じて、国民財産の形成を支援する役割を担っています。

業績
概況

円高・株安等の時価要因により、株式投信の期間平均残高が前年同期比で減少したことなどから、純営業収益、経常利益ともに前年同期を下回りました。



トピックス



第79回定時株主総会を開催



議長を務める執行役社長
日比野 隆司

株主総会会場

当社は、2016年6月28日(火)に、第79回定時株主総会をザ・プリンス パークタワー東京にて開催し、昨年を上回る2,687名の株主の皆さまにご来場いただきました。

まず、事業報告について視覚的にもわかりやすいスライドで紹介し、議案説明の後に質疑応答を実施。すべての議案が可決されました。

質疑応答では、イギリスEU離脱による株価下落等のマーケットの変動、海外事業の今後の展開、さらにはアセット・マネジメント部門の運用力強化をどのように

図っていくか、個人情報の取扱いやサイバー攻撃への対策および社員教育など、幅広い分野について18名の株主さまから貴重なご意見やご質問をいただき、議長を務める執行役社長の日比野に加え、各担当役員が回答しました。

なお、会場外に設けた「大和の情報コーナー」では、ジュニアNISAやファンドラップ、オンライントレードの紹介をはじめ、大和証券グループの商品やCSRの取組みや関連する資料の展示を行い、ご来場いただいた株主の皆さままで賑わいました。

CLOSE
UP!

ダイワの オンライントレード

祝20周年



1996年に日本で初めてインターネットでの証券取引「ダイワのオンライントレード」を開始し、今年で20周年を迎えました。

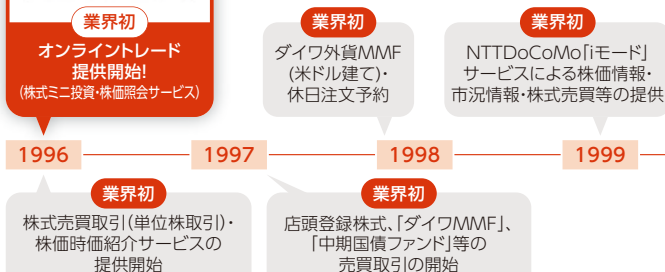
お客さまから選ばれるチャネルとして今後も“もっと便利に、使いやすい”サービスの提供に努めてまいります。



現在、大和証券グループのCMでは、日本を代表する実力派俳優 渡辺謙さんがキャラクターを務めています。渡辺さんのダイナミックかつコミカルな演技が展開されていますので、ぜひCMにもご注目ください。

大和証券
ONLINE TRADE
SINCE 1996

20年の実績



選ばれる
ポイント

1

著名アナリスト × 動画・レポート
「情報提供力」

アナリストランキング上位者
多数在籍

最新情報を
レポートや動画で配信



～任せる、という選択。あなたに寄り添う、一歩先をいく資産運用を。～

「ダイワファンドラップ プレミアム」の取扱開始

2016年10月3日スタート

「貯蓄から投資の時代をリードする投資サービスの提供」の一環として、大和証券が提供している「ダイワファンドラップ」。同サービスは、投資初心者の方や安定志向が強い方など“資産運用を任せたい”“安定的な運用を行ないたい”といったニーズにお応えすることで、2016年9月末時点で12万件を超えるご契約を頂戴しております。

そこで、お客さまのニーズによりきめ細かくお応えする「ダイワファンドラップ プレミアム」の取扱いを2016年10月3日より開始。当サービスでは、「ダイワファンドラップ」の特長を活かしつつ、お客さま一人ひとりのライフプランに合わせ、一生にわたり継続的に資産の運用・管理をサポートさせていただく複数を採用することで、お客さまのベストパートナーとして相応しいコンサルティングサービスを提供することが可能となります。

■「ダイワファンドラップ プレミアム」の特長

- 1 最適なポートフォリオによる運用
- 2 投資目的ごとの運用・管理
- 3 一人ひとりのニーズに応える高いカスタマイズ機能
- 4 目標実現のための継続的なサポート



ダイワ ファンドラップ
— PREMIUM —

■「ダイワファンドラップ プレミアム」サービス概要

契約金額	3,000万円以上1万円単位
契約期間	1年ごとの自動更新
運用スタイル	ヒアリングシートへのご回答をもとに、お客さまに適した運用スタイルをご提案
投資対象	世界中から厳選したファンドより、資産クラスごとに最大3銘柄まで選択可能
運用口	最大5つまで設定可能 300万円以上1万円単位(運用口ごと)
契約の終了	契約締結日の3ヶ月後から可能
運用報告	「ダイワファンドラッププレミアム 運用報告書 兼 取引残高報告書」 「ダイワファンドラッププレミアム マンスリーレポート」 「ダイワファンドラッププレミアム Webサービス」等
定期受取サービス	契約資産から一定額を定期的に換金し、お支払いするサービス
寄附サービス	契約更新時に資産評価額が増加していた場合、増加額の5%を換金し、お客さまがご選択された寄附先に寄附をするサービス
相続時受取人指定サービス	お客さまに相続が発生した場合、予めご指定いただいたご家族の方に「ダイワファンドラップ プレミアム」の返還資産をお支払いするサービス

を、これからの20年に。

口座開設
は簡単!

スマートフォンで ▶▶▶ 最短1日
インターネットで ▶▶▶ 最短3日
支店へご来店 ▶▶▶ 即日開設



▲お申込みはこちら



選ばれるポイント

2

総合証券 × ネット銀行

「商品力」

IPOなど総合証券ならではの幅広い商品ラインナップ

大和ネクスト銀行
110万口座・預金残高3兆円

選ばれるポイント

3

インターネット × 店舗・コンタクトセンター

「安心・サポート力」

全国140超の店舗・620席体制のコンタクトセンター

口座数300万超の
オンライントレード利用実績

トピックス



こんなところで仕事しています！

『家族の職場訪問』を開催

当社グループは、社員にとってより働きがいのある会社を目指し、様々な取組みを行なっています。

こうした取組みの一環として、7月29日（一部を除く）に当社グループ各社において『家族の職場訪問』を開催しました。今年はグループ全体で過去最多となる6,000名を超える家族が参加し、全国の職場が家族の笑顔であふれた一日となりました。

2008年より実施しているこのイベントは、社員のみならず社員の家族にとっても「いい会社」「誇れる会社」でありたいとの思いから、年に1度、社員の家族を職場に招待するものです。当日は、子どもたちとの名刺交換や記念撮影のほか、各部署の独自イベントを楽しむ家族の様子が見られました。

また、全国の営業店で行われた職場訪問が一部のテレビや新聞で紹介されました。



個人投資家向け会社説明会

第4回インターネットライブセミナーを開催

当社は、9月21日に第4回インターネットライブセミナーを実施し、合計1,493名の方にご視聴いただきました。

説明会では、IR担当役員より当社グループの概要や業績についてご説明しました。説明会後のアンケートでは、多くの方から「内容に満足した」とのご回答をいただいております。インターネットライブセミナーの動画については、当社ウェブサイト上で配信しておりますので、是非ご視聴ください。

今後もさまざまな説明会を開催するとともに、株主・投資家の皆さまとのコミュニケーションの更なる充実を図っていきます。



インターネットライブセミナーのご視聴はこちら

<http://www.daiwattv.jp/daiwa-grp/kouen/ondemand/160921/index.html>

被災地の
一日も早い
復興を応援

平成28年熊本地震への支援

「平成28年熊本地震」により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

被災された皆様の救済や被災地復興に役立てていただくために、大和証券グループ本社、大和証券、グループ国内外社員及びOB、そして大和証券福祉財団が、様々な形の寄付や助成を行いました。

株式会社大和証券グループ本社

寄付金 1,000万円

大和証券株式会社

寄付金 1,000万円

大和証券グループ
国内外社員及びOB

寄付金 1,009万円

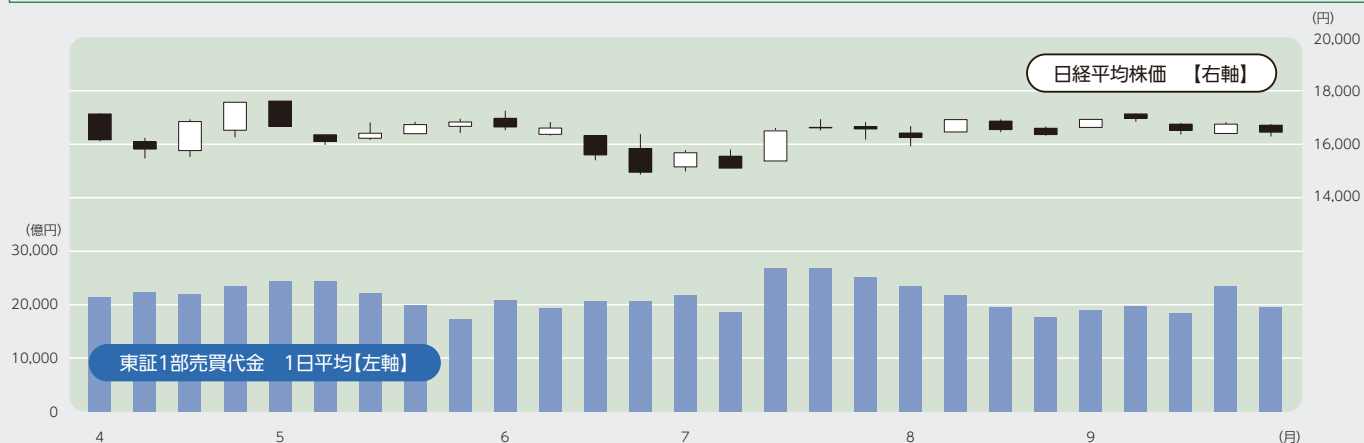
公益財団法人大和証券福祉財団

助成金
寄付金 2,207万円

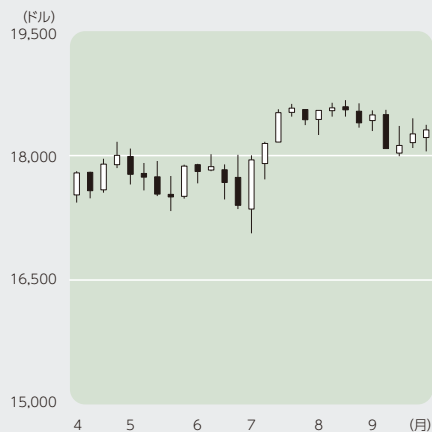
市場環境

- 当期前半の国内株式市場は、世界経済の減速懸念、円高の進行、6月末の英国のEU離脱(Brexit)問題を背景に、株価は軟調に推移しました。
- 7月に入ると金融市場が落ち着きを取り戻したことに加え、7月29日に日銀がETFの買い入れ増額を決定したことが株価を支え、1万6,000円台での推移となりました。
- 当期末の日経平均株価は16,449.84円、TOPIXは1,322.78ptとなりました。

国内株価



NYダウ工業株30種



英国FTSE100指数



香港ハンセン指数



米ドル/円レート



ユーロ/円レート



豪ドル/円レート



※2016年4～9月 週次データ 出所：東京証券取引所、Bloomberg

会社概要／株式・株価の情報

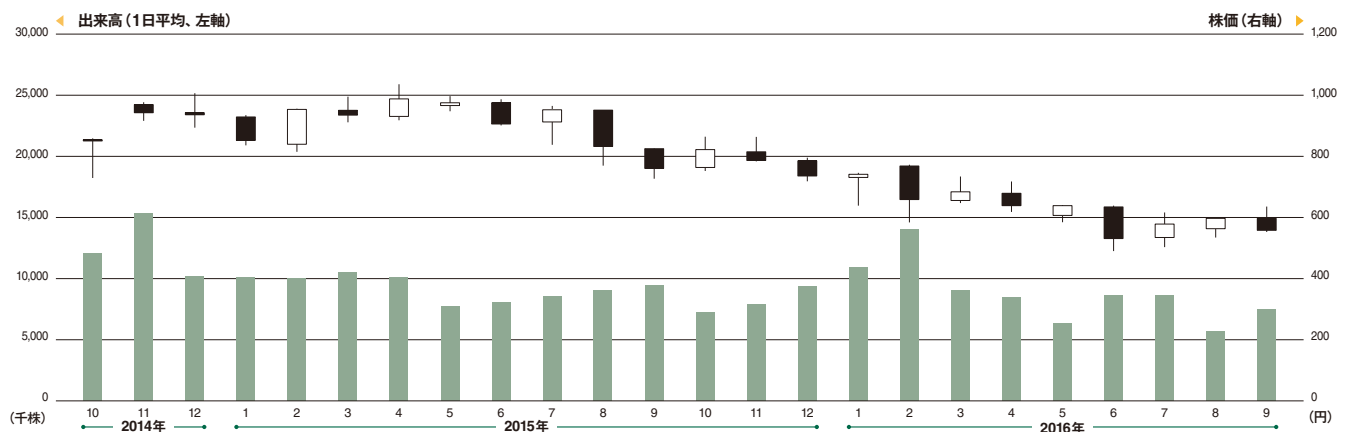
■ 会社概要 2016年9月30日現在

商 号	株式会社大和証券グループ本社 英文：Daiwa Securities Group Inc.
証券コード	8601
所 在 地	〒100-6751 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 グラントウキョウ ノースタワー
電 話	(03)5555-1111(代)
創 業 日	1902年5月1日
設 立 日	1943年12月27日
代 表 者	執行役社長 日比野 隆司
資 本 金	2,473億円
事 業 内 容	有価証券関連業務およびその遂行を支援する業務を営む国内および海外の子会社、関連会社の株式又は持分を所有することによる当該会社の支配・管理
ホームページ	http://www.daiwa-grp.jp/
I R 室	(03)5555-1300
国 内 グループ会社	大和証券株式会社 大和証券投資信託委託株式会社 株式会社大和総研ホールディングス 大和住銀投信投資顧問株式会社 株式会社大和証券ビジネスセンター 大和プロパティ株式会社 株式会社大和ネクスト銀行 株式会社大和総研 株式会社大和総研ビジネス・イノベーション 大和企業投資株式会社 大和PIパートナーズ株式会社 大和証券エスエムビーシープリシパル・インベストメンツ株式会社 大和リアル・エステート・アセット・マネジメント株式会社 大和証券オフィス投資法人

■ 東京証券取引所における当社株価 2015年10月1日～2016年9月30日

始値	高値	安値	終値	一日平均出来高
733.0	875.0	496.0	564.4	8,720千株

■ 株価および出来高の推移 2014年10月1日～2016年9月30日(東京証券取引所)



■ 株主数および株式数の状況 2016年9月30日現在

所有者区分	株主数 (名)	株主数比率	株式数 (千株)	株式数比率 (カッコ内:2016年3月末)
個 人	122,096	98.1%	380,285	21.7% (20.8%)
金融機関	196	0.2%	502,044	28.7% (28.7%)
国内法人	1,354	1.1%	65,683	3.8% (3.8%)
外 国 人	782	0.6%	678,975	38.8% (39.3%)
そ の 他	68	0.1%	122,389	7.0% (7.4%)
合 計	124,496	100.0%	1,749,378	100.0%(100.0%)

(注1) 株式数は千株未満を切捨てています。

(注2) 株主数比率と株式数比率は小数第2位を四捨五入しています。

(注3) 「その他」には、政府・地方公共団体、証券会社、自己名義株式が含まれます。

■ 大株主(上位10名) 2016年9月30日現在

株主名	持株数 (持株比率)
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	150,734千株 (8.89%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	65,107千株 (3.84%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	55,649千株 (3.28%)
パークレイズ証券株式会社	34,000千株 (2.00%)
太陽生命保険株式会社	31,140千株 (1.83%)
株式会社三井住友銀行	30,328千株 (1.79%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	26,211千株 (1.54%)
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	25,527千株 (1.50%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社・三井住友信託退給口	24,888千株 (1.46%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	24,410千株 (1.44%)

(注1) 持株数は千株未満を切捨てています。

(注2) 持株比率は小数第3位を切捨てています。

(注3) 持株比率は自己株式(55,675,474株)を控除して計算しております。

(注4) 当社は、2016年9月30日現在、自己株式55,675千株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。



コンタクトセンター

フリーダイヤル **0120-010101**

受付時間 平日 8:00~19:00 土・日・祝日 9:00~17:00

ホームページ

<http://www.daiwa.jp/>

本店

03-5555-7555

北海道・東北地区

札幌支店	(011) 214-6111
釧路支店	(0154) 23-0161
青森支店	(017) 777-2111
盛岡支店	(019) 652-1171
仙台支店	(022) 221-5111
秋田支店	(018) 831-2811
山形支店	(023) 622-8151
福島支店	(024) 522-3111
郡山支店	(024) 932-3111
いわき支店	(0246) 23-0111

関東地区

水戸支店	(029) 226-9111
宇都宮支店	(028) 621-3531
高崎支店	(027) 327-7111
伊勢崎営業所	(027) 338-6120
大宮支店	(048) 642-3881
春日部営業所	(048) 642-3714
浦和支店	(048) 834-6111
川口支店	(048) 225-3611
所沢支店	(04) 2922-8111
花小金井営業所	(04) 2907-3510
千葉支店	(043) 227-8181
船橋支店	(047) 424-2111
松戸支店	(047) 366-5111
うすい支店	(043) 462-1009
柏支店	(04) 7166-2701
浦安営業所	(03) 4531-2120
日比谷支店	(03) 3508-8111
銀座支店	(03) 5250-8585
新宿支店	(03) 3352-5141
仙川営業所	(03) 4316-7500
新宿センタービル支店	(03) 3345-1661
上野支店	(03) 3832-0191
亀戸支店	(03) 3681-3181
市川営業所	(03) 3681-3304
新小岩営業所	(03) 4431-8380
五反田支店	(03) 3493-1211
武蔵小山営業所	(03) 4412-1080
自由が丘支店	(03) 3717-0141
学芸大学営業所	(03) 4487-4080
蒲田支店	(03) 3732-9171
大森支店	(03) 5471-3311
成城支店	(03) 3415-5211
経堂営業所	(03) 3415-4173
渋谷支店	(03) 3463-9211
用賀営業所	(03) 4323-8650
代々木上原営業所	(03) 4323-8630
三軒茶屋営業所	(03) 4323-8640
中野支店	(03) 5385-1311
池袋支店	(03) 3982-2141
成増営業所	(03) 4354-0280
池袋西口支店	(03) 3980-1005

赤羽支店	(03) 3903-0311
練馬支店	(03) 3992-0131
石神井公園営業所	(03) 6367-3220
千住支店	(03) 3879-6111
草加営業所	(03) 4434-2160
吉祥寺支店	(0422) 22-9311
永福町営業所	(0422) 57-3660
府中支店	(042) 354-7000
国立支店	(042) 571-0211
立川支店	(042) 526-1711
八王子支店	(042) 644-2211
多摩支店	(042) 375-5511
町田支店	(042) 722-2131
横浜支店	(045) 671-6700
横浜駅西口支店	(045) 311-1271
日吉営業所	(045) 614-6150
戸塚支店	(045) 864-1715
青葉台支店	(045) 983-8282
鷺沼営業所	(045) 517-9220
相模原支店	(042) 730-7000
川崎支店	(044) 244-2121
武蔵小杉営業所	(044) 577-2530
藤沢支店	(0466) 23-8111
鎌倉支店	(0467) 23-1616
厚木支店	(046) 224-8111
茅ヶ崎支店	(0467) 58-6111
横須賀支店	(046) 821-1800

中部・北陸地区

新潟支店	(025) 223-4101
長岡支店	(0258) 37-9001
富山支店	(076) 424-2411
高岡支店	(0766) 21-3500
金沢支店	(076) 262-4211
福井支店	(0776) 22-3311
甲府支店	(055) 222-0121
長野支店	(026) 227-6501
上田営業所	(026) 477-0115
松本支店	(0263) 35-0131
岐阜支店	(058) 265-2171
静岡支店	(054) 254-3151
浜松支店	(053) 454-1411
沼津支店	(055) 962-3590
名古屋支店	(052) 963-7111
鳴海営業所	(052) 728-1020
八事営業所	(052) 728-1000
名古屋駅前支店	(052) 571-3111
豊橋支店	(0532) 55-0011
岡崎支店	(0564) 24-6811
一宮支店	(0586) 71-6311
津支店	(059) 226-7111

近畿地区

彦根支店	(0749) 23-2111
------	----------------

京都支店	(075) 251-2111
伏見営業所	(075) 251-2160
大阪支店	(06) 6454-7778
梅田支店	(06) 6373-3311
北千里営業所	(06) 6373-3130
難波支店	(06) 6632-5151
京橋支店	(06) 6354-1201
阿倍野支店	(06) 6624-0333
岸和田支店	(072) 423-3501
豊中支店	(06) 6854-1131
茨木支店	(072) 632-0651
堺支店	(072) 223-8850
神戸支店	(078) 392-7911
芦屋営業所	(078) 955-9710
姫路支店	(079) 223-2881
尼崎支店	(06) 6411-1481
明石支店	(078) 917-0001
西宮支店	(0798) 66-3500
奈良支店	(0742) 23-1271
和歌山支店	(073) 431-1131

中国地区

鳥取支店	(0857) 29-1511
松江支店	(0852) 27-7151
岡山支店	(086) 225-1111
広島支店	(082) 228-5211
福山支店	(084) 931-3333
下関支店	(083) 231-5151
徳山支店	(0834) 21-5601
山口営業所	(0834) 21-5670

四国地区

徳島支店	(088) 623-0131
高松支店	(087) 822-2222
松山支店	(089) 941-7101
新居浜支店	(0897) 33-5800
高知支店	(088) 823-0323

九州・沖縄地区

福岡支店	(092) 713-4007
北九州支店	(093) 531-1141
久留米支店	(0942) 33-2131
佐賀支店	(0952) 24-6121
長崎支店	(095) 823-0181
熊本支店	(096) 353-2551
大分支店	(097) 537-8111
宮崎支店	(0985) 29-5211
鹿児島支店	(099) 223-5141
那覇支店	(098) 861-5200

お客様
相談
センター

03-5555-2222

受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日、年末年始を除く)

「お客様相談センター」では、お客さまのご意見、ご要望、苦情などを専用電話にてお受けいたします。お客さまからお寄せいただいた「声」に真摯に耳を傾け、その声を企業活動に活かし、サービスやお客さま満足度の向上に役立て、「お客さまから選ばれる証券会社」を目指します。
なお、ご注文や株価・残高照会、商品の詳しいご説明、資産運用のご相談はお取引の窓口で承ります。

株主メモ

■ 株式についてのご案内

決 算 日	3月31日(年1回)
期末配当	3月31日
基 準 日 *	中間配当 9月30日
	*剰余金の配当については、必要に応じ基準日を定めて実施することがございます。
定時株主総会	6月下旬(基準日3月31日)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電 話 照 会 先	フリーダイヤル 0120-782-031
公告掲載方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載URL http://www.daiwa-grp.jp/ir/shareholders/

■ 住所変更のお手続きについて

ご住所を変更された場合、株主名簿の変更手続きが必要となります。お手続きをお忘れになると、株主総会招集ご通知や配当金関係書類などをお届けできなくなりますので、ご注意ください。

■ 単元未満株式の買増し・買取りについて

当社では、単元未満株式に不足分を買増して単元株式数(1,000株)におまとめいただけるよう、単元未満株式の買増制度を採用しています。また、当社に買取請求をすることもできます。

なお、下記期間は原則として買増および買取請求の受付を停止していますので、ご注意ください。

買 増 請 求 の 受付停止期間	毎年3月31日の前営業日から起算して10営業日前の日から3月31日までの間、および9月30日の前営業日から起算して10営業日前の日から9月30日までの間
買 取 請 求 の 受付停止期間	毎年3月31日の前営業日から起算して3営業日前の日から3月31日までの間、および9月30日の前営業日から起算して3営業日前の日から9月30日までの間

具体的なお手続きに関するご照会はお取引先の証券会社等にお問合せください。なお、特別口座を開設された場合の買増および買取請求は下記の三井住友信託銀行の電話照会先(フリーダイヤル)までお問合せください。

用紙請求等その他のご照会

 0120-782-031

オペレーター対応：平日 9:00～17:00

インターネットホームページURL

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

株主優待

申込締切日

2017年1月31日(火)

毎年、3月末と9月末の株主さまを対象に、年2回の株主優待を実施しております。

2016年9月末株主優待の対象は、2016年9月末の株主名簿に記録の1,000株以上保有されている株主さまです。
2017年1月31日(火)までにお申込みください。



※ 優待品などの写真はイメージであり、実際の商品と異なる場合がございますのでご了承ください。

■ 保有株式数

1,000株～2,999株 保有の株主さま

3,000株～4,999株 保有の株主さま

5,000株～9,999株 保有の株主さま

10,000株以上 保有の株主さま

■ 株主優待品

株主優待品(2,000円相当) カタログより1点

株主優待品(2,000円相当) カタログより2点

株主優待品(5,000円相当) カタログより1点

株主優待品(5,000円相当) カタログより2点

※ 詳しくは、株主優待品カタログをご覧ください。

■ 個人情報の取扱いについて

お申込みハガキにご記入いただいた電話番号は、株主優待以外の目的では使用いたしません。
株主優待に係る集計・発送業務等は、大和証券グループ本社と契約を結んだ子会社および第三者へ委託しております。

Webからのお申込みも開始しました

お申込み専用サイト(詳しいお申込み方法はお申込みハガキをご覧ください)

<https://www.daiwa-grp-yutai.jp/>



■ 株主優待に関するお問合せ先(株主優待品カタログについて)

株主優待品



株主優待品カタログ事務局
0120-044-315

平日10:00-17:00 2016年12月29日～2017年1月4日を除く
※ 2017年3月31日で終了

「ダイワのポイントプログラム」交換ポイント

大和証券本・支店・営業所またはコンタクトセンター



0120-010101

平日8:00-19:00、土・日・祝日9:00-17:00



FSC認証の紙製品を使用することにより、より良い森林管理を支援しています。